



回復期セラピストマネジャーとは・・・ 回復期セラピストマネジャーコースのご紹介

回復期リハ病棟の制度ができ 10 年を迎え、病棟数は増加傾向にあり、既に回復期リハ病棟に従事している PT・OT・ST（以下、セラピスト）数は、約 1 万 5 千人と推定されます。

多職種のスタッフがチームを組んで自宅復帰を目指す回復期リハ病棟においては、病棟におけるマネジメントは重要な課題です。

そこで、本協議会では、この課題解決に向けて、セラピストも積極的に関わるべきであると考え、「回復期セラピストマネジャーコース」を開講いたします。概略は下記のとおりとなります。お申込みをお待ちしています。

講義タイトル	講師名	講義タイトル	講師名	講義タイトル	講師名	講義タイトル	講師名
回復期リハビリテーション病棟の役割・制度と将来像	石川 誠	リハビリテーション医療と治療目標	菅原 英和	各職種の役割とゴール設定	小泉 幸毅	KYT	奥山 夕子
回復期リハビリテーション病棟連絡協議会認定セラピストの意義	松本 秀行	脳卒中の理解	宮井 一郎	リハビリテーション看護	諸伏 悦子	組織論と管理学	北浦 暁子
障害者と社会制度	伊藤 利之	脳外傷の理解	栗原 正紀	回復期リハビリテーションにおけるソーシャルワーカーの役割	取出 涼子	リハビリテーションマインド	石川 誠 浜村 明徳
地域リハビリテーション	浜村 明徳	脊髄損傷の理解	田中 宏太	回復期リハビリテーションと栄養サポート	清水 幸子	人材育成とセラピスト教育	斉藤 秀之
地域リハにおける回復期リハの価値	澤村 誠志	運動器疾患の理解	西村 一志	回復期リハビリテーション後の継続リハと地域連携	大西 康史	臨床活動に必要な情報管理と臨床研究の考え方	後藤 伸介
運動学	才藤 栄一	認知症の理解と対応	桑田 美代子	通所リハと地域包括ケア	齋藤 正身	病棟マネジメントの実際 I	小林 由紀子
生活の再構築と自立支援	酒井 郁子	廃用症候群とリハビリテーション	里宇 明元	訪問リハと住環境整備・テクノロジー	伊藤 隆夫	病棟マネジメントの実際 II	嶋 亜希
障害に対する考え方とPTOTSTの進め方	園田 茂	高次脳機能障害論	橋本 圭司	全身管理とリスク管理(心臓病態リハ論・がん病態リハ論含む)	柏木 潤一	チームビルディングの実際	堅田 由美子
病棟生活における活動分析とそのマネジメント I	淵 雅子	コミュニケーション障害学	沖田 啓子	医療安全の考え方(総論)	川村 治子	セラピストマネジメントと病棟マネジメントの考え方	佐藤 浩二
病棟生活における活動分析とそのマネジメント II	砂古口 雅子	摂食嚥下障害論	椎名 英貴	転倒・転落の考え方と対策	渡邊 進	病棟マネジメントに必要な労務・経営・財務管理と法令順守	森本 榮
障害の反応と受容に対する精神・心理的考え方と評価	南雲 直二	口腔ケア	竹内 茂伸	(平成23年度講義実績一覧・講師敬称略)			

目的：入院患者及びその家族に対する質の高いリハサービスの提供は当然のこと、人的・環境的リスクに関するリスク管理及び多職種との協働、さらに病棟運営に寄与し組織管理を実践できる回復期リハ病棟セラピストマネジャーとしての PT・OT・ST を育成すること

運営担当：PTOTST委員会

応募要件：①協議会会員施設に所属

②PT・OT・ST 協会会員いずれかに所属

③療法士免許取得後実務経験 8 年以上

④回復期リハ病棟実務経験 1 年以上

⑤施設長、または上司の推薦状

⑥運営細則に沿った必要書類が全てそろっていること

⑦本認定セラピストの趣旨を理解し回復期リハビリテーション病棟の質向上に対し強い意志を有すること

⑧全研修日程（6 日間×3 回）を通して参加すること

定員：120 名（審査を経て受講可否を決定。定員になり次第締め切ります）

研修日程：平成 23 年 7 月 19 日（火）～24 日（日）

平成 23 年 9 月 20 日（火）～25 日（日）

平成 23 年 11 月 22 日（火）～27 日（日）

会場：三田 NN ホール（東京都港区 最寄り駅：JR 田町または都営三田線三田駅）

興味のある方は、下記までお問い合わせください

全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会事務局

〒151-0071 東京都渋谷区本町 3-53-3 初台リハビリテーション病院内

電話：03-5365-8529 FAX：03-5365-8538 E-mail：kaifukuki@rehabili.jp